

地域での松枯れ防除

更新伐事業モデル地区で 対策に取り組む皆さんに聞きました



失われた30年からの 里山再生を

中村地区里山更新伐
実施委員会
委員長 遠藤宏一さん
(明科・南陸郷区)

南陸郷区の中村地区では、押野山北部の荒廃した里山の再生に向け、総合的な取り組みを平成22年度から始めました。現在、市の里山整備更新伐事業モデル地区の一つとして、10ヘクタールで7割以上の搬出間伐を進めています。また、間伐材などを製材用材や合板材、薪、紙パルプ材などの用途に県内外へ提供しています。これまで地域ぐるみで集落営農組織の法人化を進め、国や県と協働しながら平成23年度には60ヘクタールで3割間伐整備し、獣害防護用電気柵を2キロメートル自力設置などに市内の他地域に先駆けて取り組みました。今後は、地域の子どもたちも参加し、30年間荒廃して失われていた里山を健全に再生し次代に引き継いでいければと願っています。



地域全体で 新しい押野山に

下押野区
区長 下里博義さん
(明科・下押野区)

区内の押野山の松くい虫被害は平成22年ころから急激に進み、他の防除策もないため、平成24年から市の更新伐事業モデル地区の一つとして区も協力しながら取り組んでいます。更新伐では、ほとんどの松を伐採しますが、幸いにも80人いる山林所有者の理解もあり、これまで約20ヘクタールの山林が伐採されています。

伐採後の山の再生には、何年もの時間が掛かります。山林所有者以外の区民の理解や更新伐実施委員会の組織力強化、伐採による土砂災害などへの防災対策をはじめ課題もありますが、押野山の再生に向け地域全体で取り組んでいきたいと思っています。



皆伐後の植林の様子
(明科・宮中区)

市民の皆さんと共に森の再生を

防除へ5つの基本戦略

これまで市では、主に枯れた松の伐倒処理をしてきました。しかし、被害の多い地域では効果が表れない上、枯れた松のすべての処理ができない状況です。そこで新たに5つの基本戦略を定め、防除対策に取り組んでいます。

戦略1 地域での防除体制づくり

被害の多い東山地域では、山林所有者や市民などが参加し「東山地区松くい虫被害対策協議会」を設立し、守るべき松林を定め、地域一体となった対策を検討し、具体的な防除を推進しています。また、激害地域では、地区実施委員会を設立し、次代につなげる健全な里山の再生と保全を目指し取り組んでいます。

戦略2 守るべき松林での的確な防除

松がなくなることで支障が生じる林（まつたけ山、景観、災害危険箇所など）で地域に合った防除を進めています。

空中散布

有人（無人）ヘリコプターで健康な松に薬剤を散布し、松に飛来したカミキリムシを駆除します。

被害木の伐倒処理

- ・くん蒸処理
- ・破碎処理
- ・焼却処理

戦略3 森林の健全化の推進（樹種転換・更新伐）

松くい虫被害木を含めた樹木を伐採し、森林の健全化を図るために整備を推進します。

樹種転換

被害の拡大を阻止するため、まつたけ山などの守りたい松林のまわりのアカマツ等を皆伐（すべて伐採）し、松以外の樹種に変える

戦略5 被害の普及啓発（講習会等）

市民の皆さんを対象に松くい虫被害の現状や、地域一帯で松くい虫対策を考えてもらおうと樹幹注入などの防除技術の講習会を行っ

ています。

また、地域で活動するグループと協働し、被害材の活用や、カミキリムシの天敵であるアカゲラの巣箱作りなど行い、市民や子ども向けに被害について周知を行っています。

現在、個人宅の庭や神社、寺などの被害木については市が処理を行っています。平成27年度から

ことにより、カミキリムシの飛来による伝染を防ぎます。市内では、平成22年度に明科宮中区で約3ヘクタールの樹種転換を行っています。近年では皆伐があまり行われていないため、住宅付近では地域住民の理解や十分な地元調整が必要です。

森林整備（更新伐）による対策

更新伐（※）は、被害木を含めたアカマツを7割以上伐採し、一部の健全な木を残しながら他の樹種に更新させ、健全な里山へ再生します。伐採後の植栽については、天然更新、植栽どちらでも対応ができます。くん蒸処理から更新伐

戦略4 被害材を含めた伐採木の活用

松くい虫被害材などの伐採木を有効活用します。身近に活用できる薪については、市では里山の再生を図るうえで最も有効な手段と考え、長峰山・天平の森などに薪を熱源とするポイラーを導入し、今まで利用できなかった被害

は新たに補助制度を設け、松を所有する皆さんに被害木処理について協力をお願いする予定です。

市では、地域や市民の皆さんと協力しながら松くい虫被害対策を行い、安曇野らしい風景の一つである里山の再生に取り組んでいきますので、お困りの場合は相談ください。

☎三郷総合支所内耕地林務課
☎77・3111(代)☎77・6060